活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX シリーズ

VersaPro
VersaPro R

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。『はじめにお読みください』「6.マニュアルの使用方法」でご確認ください。

◆ 添付品の確認、本機の接続、Windowsのセットアップ
➡『はじめにお読みください』

◆ 本機を安全に使うための情報
➡『安全にお使いいただくために』

◆ Windowsの基礎知識、基本的な操作方法
Microsoft社製『ファーストステップガイド』、または『クイックスタートガイド』

◆ 本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンド
➡『活用ガイド　ハードウェア編』(電子マニュアル)

◆ 本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明
➡『活用ガイド　ハードウェア編』(電子マニュアル)

◆ 本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ
➡『活用ガイド　ソフトウェア編』(電子マニュアル)

◆ トラブル解決方法
➡『活用ガイド　ソフトウェア編』(電子マニュアル)

このマニュアルです

◆ 再セットアップ方法
➡『活用ガイド　再セットアップ編』

◆ 環境に関する情報
➡『環境ガイド』

◆ 選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法
➡ Office XP Personal、Office XP Professionalがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

◆ パソコンに関する相談窓口、受講施設、故障時のサービス網、およびNECの企業向けパソコン関連総合サイト「NEC 8番街」のご案内
➡『NEC PCあんしんサポートガイド』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
http://www.microsoft.com/japan/info/press

このマニュアルは、再セットアップ方法について説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それらを操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがパソコンにはじめて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

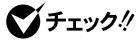
仕様についての詳細は「VersaPro/VersaPro R電子マニュアル」の「機能仕様一覧」をご覧ください。

2003年 6 月　初版

853-810602-067-A

このマニュアルの表記について

◆ このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

記号	意味
チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
XP	Windows XPに特有の機能や操作について説明します。
2000	Windows 2000に特有の機能や操作について説明します。
Me	Windows Meに特有の機能や操作について説明します。
CD	「再セットアップ用CD-ROM」使用時のみ可能な機能や操作、注意について説明します。

◆ このマニュアルで使用している表記の意味

本機

次の機種を指します。

PC98-NXシリーズ　VersaPro
VA30S/AE、VA24S/AG、VA24S/AF
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows 2000 Professionalインストールモデル)

VA16F/DG、VA16F/DF、VA13F/DF、VA13F/DX、VA18X/DF、VA18X/DX
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)
(Windows 2000 Professionalインストールモデル)

PC98-NXシリーズ　VersaPro R
VA24S/RF、VA20S/RF、VA20S/RX、VA18X/RF、VA18X/RX
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)
(Windows 2000 Professionalインストールモデル)
(Windows Meインストールモデル)

	＊本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の調べ方、読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
オールインワンノート（Aシリーズ）	次の機種を指します。 VA30S/AE、VA24S/AG、VA24S/AF
オールインワンノート（Dシリーズ）	次の機種を指します。 VA16F/DG、VA16F/DF、VA13F/DF、VA13F/DX、VA18X/DF、VA18X/DX
オールインワンノート（Rシリーズ）	次の機種を指します。 VA24S/RF、VA20S/RF、VA20S/RX、VA18X/RF、VA18X/RX
CDレスモデル	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブがない状態でご購入いただいたモデルです。次の機種で選択できます。 VA16F/DG、VA16F/DF、VA13F/DF、VA13F/DX、VA18X/DF、VA18X/DX
アプリケーションCD-ROM	本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を指します。
CD/DVDドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブを指します。書き分ける必要のある場合は、CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブと記載します。
【　】	【　】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。
『　』	『　』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します。

◆ このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版、またはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版

Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows 2000、Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版
StandbyDisk	StandbyDisk 2000-XP Pro 日本語版
StandbyDisk Solo	StandbyDisk Solo 日本語版

◆ このマニュアルで使用している画面

- このマニュアルに記載の画面は、実際のものとは多少異なることがあります。
  また、特にことわりのない場合、「再セットアップ領域」を使用したWindows XP Professionalインストールモデルの画面を使用しています。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows XP、Windows 2000またはWindows Meおよび本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
(7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(8) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(9) 本書に記載されているWebサイトや連絡先は、2003年5月現在のものです。

■ 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.
NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.
NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*[1]: NEC Corporation, NEC Custom Technica, Ltd.

Microsoft、MS、MS-DOS、WindowsおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルの構成・読み方

ハードディスク内の「再セットアップ領域」に保存されている再セットアップ用データ、または本機添付の「再セットアップ用CD-ROM」※を使って本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法などを説明しています。
また、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブ搭載モデルをお使いの場合、「再セットアップ用CD-ROM」を作成することもできます。
必ず「PART1　再セットアップする」の「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。
また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。
索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(チェック!!)、用語(用語)、メモ(メモ)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。
※ スマートセレクション、およびフリーセレクションで、「再セットアップ用媒体」を選択した場合のみ添付されています。スマートセレクション、およびフリーセレクションについては『はじめにお読みください』をご覧ください。

目 次

PART 2

索　引

英数字

ア行

カ行

サ行

ハ行

ヤ行

PART

1

再セットアップする

Windowsを再セットアップする方法について説明します。

この章の読み方

必ず「システムを修復する」、「再セットアップについて」、および「再セットアップの準備」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

この章の内容

システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

システムの修復方法には、次の方法があります。どの方法を使うかはシステムの状況により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

セーフモードを利用してシステムを修復
P.15「セーフモード(Safeモード)で起動する」

↓

XP 2000

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復
P.16「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」

↓

XP Me

「システムの復元」を使用してシステムを修復
P.18「「システムの復元」を使用してシステムを修復する」

XP 2000

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復
P.18「「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する」

↓

再セットアップを行う
P.23「再セットアップについて」

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを再追加したい場合、また、Windows を再セットアップした後にアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

セーフモード(Safeモード)で起動する

セーフモード(Safeモード)はWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊な診断モードです。以下の手順でセーフモード(Safeモード)を起動させてください。

XP **■Windows XPの場合**

1 Windows XPを起動する

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されるまで、数回【F8】を押す

3 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す

4 「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示された場合は、【Enter】を押す

5 「Windowsへログオン」の画面が表示された場合は、パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
セーフモードが起動します。

2000 **■Windows 2000の場合**

1 Windows 2000を起動する

2 「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについては、F8キーを押してください。」と表示されたら、【F8】を押す

3 Safeモードの起動オプションを選択し、【Enter】を押す
Safeモードが起動します。

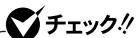
Me **■Windows Meの場合**

1 Windows Meを起動する

2 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、すぐに【Ctrl】を「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されるまで押し続ける

3 「3.Safe mode」を選択し、【Enter】を押す

セーフモードが起動し、「ヘルプとサポート」が表示されます。
セーフモードを起動して解決できる問題は、ネットワークまたはハードウェアの設定に問題がある場合です。コントロールパネルで設定を確認してから、Windows Meを再起動してください。

チェック!!

セーフモードで実行しているときは、いくつかのデバイスが利用できなくなることがあります。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することができます。

チェック!!

- 前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。
- 構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順で行います。

XP

■Windows XPの場合

1 問題があるWindows XPを起動する

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、「Windows拡張オプションメニュー」が表示されるまで、数回【F8】を押す

3 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す

4 「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示された場合は、【Enter】を押す

5 「ハードウェアプロファイル/構成の回復メニュー」の画面が表示された場合は、【L】を押し、【Enter】を押す
これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows XPが起動します。

2000 ■Windows 2000の場合

1 問題があるWindows 2000を起動する

2 画面に「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについては、F8キーを押してください。」の文字が表示されたら、【F8】を押す

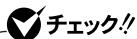
3 「Windows 2000拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す

4 「オペレーティングシステムの選択」の画面で、【Enter】を押す
「ハードウェアプロファイル/構成の回復メニュー」の画面が表示されます。
このメニューでは次のいずれかを選択できます。
- 本機の起動時に使われるハードウェアプロファイルの選択
- 前回正常起動時の構成の切り替え
- 本機の再起動

5 ここでは、前回正常起動時の構成を使用して、問題が発生する前の構成でWindows 2000を再起動するので、【L】を押し、【Enter】を押す

「システムの復元」を使用してシステムを修復する

XP Me 「復元ポイント」と呼ばれるバックアップデータを利用して、システムを復元します。
Windowsが正常に起動しない場合は、セーフモードで起動した後、「システムの復元」を行ってください。

チェック!!

セーフモードでは、復元ポイントの作成はできません。

「システムの復元」、「復元ポイント」の詳細については「ヘルプとサポート」をご覧ください。

「セットアップディスク」を使用してシステムを修復する

XP 2000 ファイルなどの破損により、Safeモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しなかった場合は、「Windows XP セットアップディスク」、または「Windows 2000セットアップディスク」を作成し、システムを修復してください。
Windows XPをお使いの場合は、「「Windows XP セットアップディスク」の作成」(P.19)へ、Windows 2000をお使いの場合は、「「Windows 2000セットアップディスク」の作成」(P.21)へ進んでください。

◎「「Windows XP セットアップディスク」の作成」

「Windows XP セットアップディスク」を作成するには、1.44MBフォーマット済のフロッピーディスクが6枚必要です。また、Microsoft社ホームページからダウンロードを行うための、インターネット接続環境が必要です。

1 インターネットに接続し、Microsoft社の次の場所にアクセスする

〈Windows XP Professionalの場合〉

http://www.microsoft.com/downloads/release.asp?ReleaseID=33306

〈Windows XP Home Editionの場合〉

http://www.microsoft.com/downloads/release.asp?ReleaseID=33305

2 掲載されているプログラムをダウンロードし、実行する

画面の指示に従って「Windows XP セットアップディスク」の作成を行ってください。「Windows XP セットアップディスク」の作成が終了したら、作成した「Windows XP Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。

3 「スタート」ボタン→「コマンドプロンプト」を起動する

4 次のコマンドを実行する

A:【Enter】
expand -r txtsetup.si_ .【Enter】
del txtsetup.si_【Enter】
exit【Enter】

5 メモ帳を起動し、「Windows XP Setup Boot Disk」内の「txtsetup.sif」を開く

6 [SetupData]セクションに次の修正を加えて、上書き保存する
[SetupData]
SetupSourceDevice = \device\harddisk0\partition1（行の追加）
SetupSourcePath = "\Windows"

チェック!!

この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。i386フォルダを元の場所から移動した場合は、記述を変更してください。
harddisk は、ハードディスクの番号です（0から始まります）
partition は、パーティションの番号です（1から始まります）
ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「記憶域」→「ディスクの管理」で確認してください。

以上で「Windows XP セットアップディスク」の作成は終了です。
次に「回復コンソール」の開始」へ進んでください。

◎「回復コンソール」の開始

1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows XP Setup Boot Disk」をセットする

2 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える

3 「セットアップの開始」の画面が表示されたら、Windows XPをセットアップするか、Windows XPを修復するかを指定するよう聞かれるので、【R】を押して修復を選択する

4 キーボードの選択画面になるので、画面の指示に従ってキーボードの選択を行う

5 回復コンソールが起動する

6 回復コンソールのコマンドを用いて修復を行う

以上でシステム修復作業は終了です。

◎「Windows 2000 セットアップディスク」の作成

チェック!!

「Windows 2000セットアップディスク」を作成するには、1.44MBフォーマット済のフロッピーディスクが4枚必要です。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 「名前」に「C:\BOOTDISK\MAKEBT32.EXE A:」と入力し、「OK」ボタンをクリック

チェック!!

BOOTDISKフォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。

画面の指示に従って「Windows 2000 セットアップディスク」の作成を行ってください。セットアップディスクの作成が終了したら、作成した「Windows 2000 Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。

3 メモ帳を起動し、AドライブのTXTSETUP.SIFを開く

4 [SetupData]セクションに次の文を追加して、上書き保存する
[SetupData]
SetupSourceDevice = \device\harddisk0\partition1

チェック!!

この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。修復セットアップを行う場合、i386フォルダはルートになければなりません。i386フォルダを移動する場合は注意してください。i386フォルダをCドライブから移動した場合は、記述を変更してください。
harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)
partitionは、パーティションの番号です(1から始まります)
ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「記憶域」→「ディスクの管理」で確認してください。

以上で「Windows 2000 セットアップディスク」の作成は終了です。
次に「「システム修復/回復コンソール」の開始」へ進んでください。

◎「システム修復/回復コンソール」の開始

システムの修復方法には、「システム修復ディスク」を使用する方法と、「回復コンソール」を使用してシステムを修復する方法があります。詳細についてはWindows 2000のヘルプをご覧ください。

1. 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 2000 Setup Boot Disk」をセットする

2. 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える

3. 「セットアップへようこそ」の画面でWindows 2000をセットアップするか、Windows 2000を修復するのかを指定するよう聞かれるので、【R】を押して修復を選択する

4. キーボードの選択画面になるので、画面の指示に従ってキーボードの選択を行う

5. 「Windows 2000修復 オプション」の画面になり、回復コンソールかシステム修復処理かを指定するよう聞かれるので、回復コンソールを使用する場合は【C】を、システム修復処理を使用する場合は【R】を押す

6. 画面の指示に従い、修復を行う

チェック!!

- 「システム修復ディスク」をバックアップ目的に使用することはできません。
- Windows 2000のrepairフォルダ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。

以上でシステム修復作業は終了です。

再セットアップについて

再セットアップを行うと、こわれてしまった本機のシステムを復旧させることができますがハードディスクに保存したファイルは消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してから始めてください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため

- 電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windowsが動作しない。
- ハードディスク内のプログラムが正常に動作しない。
- ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
- システムの修復を行っても問題が解決できない。
- セーフモード(Safeモード)で起動しても問題が解決できない。

2. ハードディスクの設定を変更するため

- Cドライブの容量を変更したい。
- ハードディスクを1つのパーティションにしたい。

3. Windowsの設定を変更するため

- Windowsを工場出荷時の状態に戻したい。
- 登録した名前を変更したい。

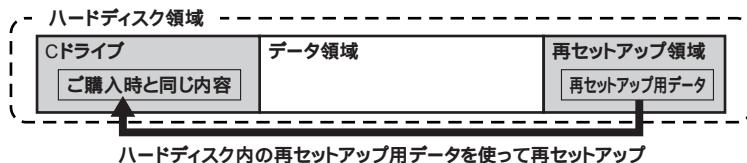
再セットアップ

本機のシステムがこわれてしまったときに、「再セットアップ領域」、または「再セットアップ用CD-ROM」に入っているデータをもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。
ハードディスクの構成を変えるときも、ハードディスクをフォーマット(初期化)し直すとシステムが消えてしまうので、再セットアップが必要です。

再セットアップの種類

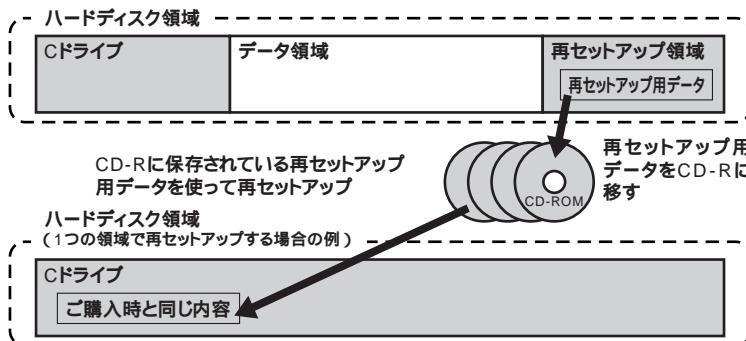
再セットアップには内蔵ハードディスク内の「再セットアップ領域」を使用した再セットアップと「再セットアップ用CD-ROM」を使用した再セットアップ方法があり、それぞれに標準再セットアップモードとカスタム再セットアップモードがあります。ここでは全ての再セットアップの種類について説明します。

「再セットアップ領域」について

ハードディスク内の「再セットアップ領域」にある再セットアップ用データを使用して、本機を再セットアップします。

チェック!!

- 「再セットアップ領域」を削除してしまうと、この方法では再セットアップできなくなり、「再セットアップ領域」を復元させるためには「再セットアップ用CD-ROM」を使用して標準再セットアップする必要があります。「再セットアップ用CD-ROM」が添付されていないモデルの場合は、「再セットアップ用CD-ROM」を入手(作成、または購入)するまでは「再セットアップ領域」は削除しないでください。
- 「再セットアップ領域」を削除したい場合は、「PART2　付録」の「「再セットアップ領域」を削除する」(P.70)をご覧ください。

「再セットアップ用CD-ROM」について

ハードディスクの領域を自由に(「再セットアップ領域」を含む)使用したい、または全領域を１パーティションにしたい場合は、「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップしてください。

CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブ搭載モデルをお使いの場合は、「再セットアップ用CD-ROM」を作成することができます。
また、「再セットアップ用CD-ROM」は購入することもできます。(有料)お買い求めの際は、以下の「PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター」のホームページにアクセスしてください。

PC98-NXシリーズ　メディアオーダーセンター

http://nx-media.ssnet.co.jp

「再セットアップ用CD-ROM」を作成する場合は、「再セットアップの準備」の「「再セットアップ用CD-ROM」の作成」(P.35)をご覧ください。

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

◎標準再セットアップ

内蔵ハードディスクドライブをすべて工場出荷時と同じ状態に戻します。初心者の方およびハードディスクについて知識のない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。

チェック!!

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して標準再セットアップした場合は、「再セットアップ領域」も復元されます。「再セットアップ領域」を復元させたい場合はこの方法で再セットアップしてください。

◎カスタム再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更したい場合は、この方法で再セットアップしてください。
使用しているオペレーティングシステムにより、選択できる再セットアップ方法が異なります。
以降の説明をご覧になり、再セットアップ方法を選択してください。

XP 〈Windows XPの場合〉
次の方法から再セットアップ方法を選択してください。

■ Cドライブのみを NTFSで再セットアップする
内蔵ハードディスクドライブのCドライブのみをNTFSで再セットアップします。
Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

CD

■全領域を1パーティションにして再セットアップする

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ選択することができます。また、この方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

内蔵ハードディスクドライブの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。
内蔵ハードディスクドライブの内容はすべて消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

■ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする（ユーザー設定による再セットアップ）

内蔵ハードディスクドライブの領域を1GB単位(NTFS)で5GBから自由に設定して再セットアップします。

チェック!!

- 「再セットアップ用CD-ROM」を使用してこの方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。
- ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。
  OSによっては、1M バイト＝1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト＝1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

2000

〈Windows 2000の場合〉
次の方法から再セットアップ方法を選択してください。

■Cドライブのみを再セットアップする（FAT32・NTFS）

内蔵ハードディスクドライブのCドライブのみをFAT32、またはNTFSで再セットアップします。再セットアップの途中でFAT32かNTFSのどちらで再セットアップするかを選択します。
Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

CD

■全領域を1パーティションにして再セットアップする

チェック!!

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ選択することができます。また、この方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

内蔵ハードディスクドライブの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。
内蔵ハードディスクドライブの内容はすべて消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

■ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする（ユーザー設定による再セットアップ）

内蔵ハードディスクドライブの領域を1GB単位(NTFS)で3GBから自由に設定して再セットアップします。

チェック!!

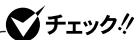
- 「再セットアップ用CD-ROM」を使用してこの方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。
- ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。
  OSによっては、1M バイト＝1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト＝1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

Me

<Windows Meの場合>

次の方法から再セットアップ方法を選択してください。

■CドライブのみFAT32で再セットアップする

内蔵ハードディスクドライブのCドライブのみをFAT32で再セットアップします。CドライブがFAT16の場合は、FAT32に変換して再セットアップします。Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

CD

■全領域を1パーティションにして再セットアップする

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ選択することができます。また、この方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

内蔵ハードディスクドライブの全領域を1つのパーティション(FAT32)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。自動的にFAT32になりますので、利用する前に、「PART2　付録」の「FAT32ファイルシステムの利用」(P.75)をご覧ください。
内蔵ハードディスクドライブの内容はすべて消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

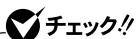
■ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする（ユーザー設定による再セットアップ）

内蔵ハードディスクドライブの領域を自由に設定して再セットアップすることができます。
Cドライブのハードディスク領域を変更したいときは、次の2通りのどちらかの方法で再セットアップしてください。

〈GB単位で指定する〉

内蔵ハードディスクドライブの領域を1GB単位(FAT32)で2GBから自由に設定して再セットアップすることができます。

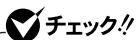
「再セットアップ用CD-ROM」を使用してこの方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

CD

〈FDISKコマンドを使用する〉

「再セットアップ領域」が存在しない場合のみ選択することができます。

内蔵ハードディスクドライブの領域をFDISKコマンドを使用して確保します。
FDISKを使用しますので、ハードディスクの領域を自由に確保することができます。
領域を削除する際には、必要なデータのバックアップを忘れずに行ってください。

メモ

FAT16ファイルシステムを利用したい場合は「FDISKコマンドを使用する」で再セットアップしてください。

チェック!!

ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。OSによっては、1M バイト＝1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト＝1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

再セットアップ時の注意

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップをすることができません。また、画面で指示された以外のキーを押したり、スイッチの操作をすると、正しく再セットアップできない場合があります。

◎再セットアップは途中でやめない

いったん再セットアップをはじめたら、再セットアップの作業を絶対に中断しないでください。作業を中断すると故障の原因となります。必ず最後まで通して行ってください。万が一再セットアップの作業を中断してしまった場合は、正しく再セットアップされていない可能性があるので、再セットアップを最初からやりなおしてください。

◎Windowsの設定をするときは長時間放置しない

Windowsの設定をする際に、キー操作の必要な画面では長時間放置しないでください。

◎再セットアップ後の状態について

購入後にインストールしたアプリケーションや作成されたデータは復元されません。インストールしなおしてください。また、再セットアップ後に周辺機器の設定はすべて初期状態になります。もう一度設定しなおしてください。

Cドライブ以外のドライブにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要になる場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。

◎ダイナミックディスクについての注意

本機の再セットアップはダイナミックディスクをサポートしておりません。

◎起動ハードディスクドライブに拡張パーティションを作成した場合の注意

再セットアップする前に拡張パーティションにある必要なデータをバックアップしたあと、拡張パーティションを削除してから再セットアップしてください。また、再セットアップ中に「無効なメディアの種類です」と表示された場合は「中止」を選択し、処理を継続してください。

◎起動ハードディスクドライブの最後尾に未割り当て領域が存在する場合の注意

この未割り当て領域にはパーティションを作成しないでください。作成してしまった場合は、再セットアップを開始する前に、必要なデータをバックアップしたあと、このパーティションを削除してから再セットアップしてください。

◎起動ハードディスクドライブにプライマリパーティションを3つ作成した場合の注意

「再セットアップ領域」を含めてプライマリパーティションが4つある状態では再セットアップが正常にできない場合があります。必要なデータをバックアップしたあと、パーティションの変更を行い、プライマリパーティションを「再セットアップ領域」を含めて3つ以下の状態にしてから再セットアップを行ってください。

◎StandbyDiskモデルで再セットアップするときの注意

StandbyDiskモデルをお使いの場合、セカンドハードディスクドライブ(VersaBay IVb)で運用中、そのドライブに対して再セットアップすることはできません。必ず、バックアップ環境の構築後、本体内蔵のハードディスクドライブに対して再セットアップしてください。バックアップ環境の構築手順については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

再セットアップの準備

ここでは、再セットアップを行う前に準備しておくことや、再セットアップ時の注意事項について説明しています。再セットアップを始める前に必ずお読みください。

必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

- 『はじめにお読みください』
- 「Office XP Personal」CD-ROM(Office XP Personalモデルのみ)
- 「Office XP Professional」CD-ROM(Office XP Professionalモデルのみ)
- 「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合は、さらに次のものを準備しておいてください。

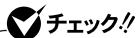
- 「再セットアップ用CD-ROM」

チェック!!

- CD/DVDドライブが搭載されていないモデルをお使いの場合は、別売のCD/DVDドライブが必要です。
- 「再セットアップ用CD-ROM」が添付されていないモデルをお使いの場合は、「「再セットアップ用CD-ROM」の作成」(P.35)をご覧になり作成してください。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアップをとってから再セットアップしてください。

チェック!!

マルチユーザーでお使いの場合は、それぞれのユーザー名でログオンし、データのバックアップを行ってください。

用語 バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合やハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製(コピー)を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバックアップが有効です。

使用環境の設定を控える

再セットアップを行うと、ネットワークの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

- ワイヤレススイッチをオフにする
- 本機の電源を切る
- 周辺機器を取り外す
- CD/DVDドライブを使える状態にする
- ACアダプタを接続する

◎ワイヤレススイッチをオフにする

ワイヤレスLANが内蔵されているモデルの方はワイヤレススイッチがオフになっていることを確認してください。ワイヤレススイッチがオンになっている場合は、再セットアップ前にオフにしてください。

◎本機の電源を切る

スタンバイ状態や休止状態になっている場合は、復帰してから電源を切ってください。

◎周辺機器を取り外す

周辺機器を取り外して『はじめにお読みください』をご覧になり、購入時と同じ状態にしてください。

◎CD/DVDドライブを使える状態にする

選択アプリケーションのあるモデルをお使いの方、または「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする方は再セットアップを開始する前にCD/DVDドライブを使える状態にしておいてください。

◎ACアダプタを接続する

バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

以上で「再セットアップ用CD-ROM」の作成は終了です。
これで「再セットアップ」の準備がすべて整いました。
再セットアップの方法により次の項目に進んでください。
〈「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする」(P.38)
〈「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする」(P.41)

「再セットアップ用CD-ROM」の作成

◎「再セットアップ用CD-ROM」の作成

「再セットアップ用CD-ROM」の作成には、約1時間30分かかります。(モデルによって異なります)
Windows XP、Windows 2000の場合、この操作は管理者、またはAdministrator権限を持つユーザで行ってください。
CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブ搭載モデルで「再セットアップ用CD-ROM」を作成する場合、700MB、または650MBのCD-R媒体を用意してください。
またCD-R以外の媒体では「再セットアップ用CD-ROM」は作成できません。

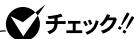
モデル	「再セットアップ用CD-ROM」作成に必要なCD-R枚数
Windows XP Professionalインストールモデル Windows XP Home Editionインストールモデル	3枚
Windows 2000 Professionalインストールモデル	2枚
Windows Meインストールモデル	1枚

メモ

「再セットアップ用CD-ROM」の作成に失敗した場合など、「再セットアップ用CD-ROM」を途中から作成することもできます。

チェック!!

- CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブ搭載モデルのみ「再セットアップ用CD-ROM」を作成することができます。
- 「再セットアップ用CD-ROM」作成にはRecordNow DXが必要です。『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「RecordNow DX」をご覧になり、追加してください。
- 「再セットアップ用CD-ROM」の作成を始める前に、常駐しているアプリケーション、または起動中のアプリケーションは必ず終了してください。
- 「再セットアップ用CD-ROM」作成中に省電力機能が作動してしまうと、「再セットアップ用CD-ROM」の作成に失敗する可能性があります。省電力機能の設定は解除しておいてください。
- Windows Meで「再セットアップ用CD-ROM」作成中に電源を切ってしまった場合、FDISKを使用して領域の変更は行わないでください。
- 作成した「再セットアップ用CD-ROM」は紛失・破損しないよう、保管には充分気を付けてください。

1 〈Windows XPの場合〉
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップ用CD-ROM作成」をクリック
〈Windows 2000、Windows Meの場合〉
「スタート」ボタン→「プログラム」→「ツール」→「再セットアップ用CD-ROM作成」をクリック

チェック!!

Windows MeモデルでNorton AntiVirusが動作している場合、正しく動作しない場合があります。
Norton AntiVirusを削除するか、次のいずれかの方法でNorton AntiVirusの機能を無効にしてから「再セットアップ用CD-ROM作成」を実行してください。

- 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Norton AntiVirus」の「NortonAntiVirus 2003」をクリックし、「オプション」メニュー→「Auto-Protect」を選択する。
  「コンピュータを保護するには」にある「Auto-Protectを有効にする」、および「Windowsの起動時にAuto-Protectを起動する」のチェックを外す。
- 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Norton AntiVirus」の「Norton AntiVirus 2003」をクリックし、「オプション」メニュー→「Auto-Protect」を選択する。
  画面左側にある「Auto-Protect」→「拡張」をクリックし、「ウィルスらしい活動として監視する」にある「ハードディスクのブートレコードへ書込み」を「処理を許可する」に設定する。

2 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

手順1、2を行ったユーザと同一のユーザでログインしてください。

3 「再セットアップ用CD-ROM作成」の画面が表示されたら、「スタート」ボタンをクリック

チェック!!

Windows XPモデルでCD-R媒体を挿入時に「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示された場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

これ以降の操作は「完了」ボタンが表示されるまで、画面の指示に従ってください。

以上で「再セットアップ用CD-ROM」の作成は終了です。
これで「再セットアップ」の準備がすべて整いました。
再セットアップの方法により次の項目に進んでください。
〈「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする」(P.38)
〈「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合〉
「「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする」(P.41)

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする

「再セットアップ領域」を使用して再セットアップする

次の3通り(「【F11】を押して起動する」、「「再セットアップツール」から起動する」、「「アプリケーションCD-ROM」から起動する」)のうち、いずれかの操作を行い、再セットアップを開始してください。

◎【F11】を押して起動する

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら、【F11】を数回押す

> **チェック!!**
> 【F11】を押すタイミングが遅いと、「Windows 再セットアップ」の画面が表示されません。表示されなかった場合は、いったん電源を入れなおし、【F11】を押す間隔を変えてください。

3 「Windowsの再セットアップを行います」と表示されたら、注意事項をよく読んで【Enter】を押す

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(P.42)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(P.44)へ進んでください。

◎「再セットアップツール」から起動する

チェック!!

- 再セットアップを始める前に、常駐しているアプリケーション、または起動中のアプリケーションは必ず終了してください。
- Windows XP、Windows 2000の場合は必ず管理者(Administrator権限を持つユーザ)でログインしてください。
- Windows MeモデルでNorton AntiVirusが動作している場合、正しく動作しない場合があります。Norton AntiVirusを削除するか、次のいずれかの方法でNorton AntiVirusの機能を無効にしてから「再セットアップツール」を実行してください。
  - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Norton AntiVirus」の「Norton AntiVirus 2003」をクリックし、「オプション」メニュー→「Auto-Protect」を選択する。「コンピュータを保護するには」にある「Auto-Protectを有効にする」、および「Windowsの起動時にAuto-Protectを起動する」のチェックを外す。
  - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Norton AntiVirus」の「Norton AntiVirus 2003」をクリックし、「オプション」メニュー→「Auto-Protect」を選択する。画面左側にある「Auto-Protect」→「拡張」をクリックし、「ウィルスらしい活動として監視する」にある「ハードディスクのブートレコードへ書込み」を「処理を許可する」に設定する。

1 〈Windows XPの場合〉
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップツール」をクリック
〈Windows 2000、Windows Meの場合〉
「スタート」ボタン→「プログラム」→「ツール」→「再セットアップツール」をクリック

2 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「再セットアップ領域を使用して再セットアップ」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。
再起動後、再セットアップ開始画面が表示されます。
次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(P.42)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(P.44)へ進んでください。

◎「アプリケーションCD-ROM」から起動する

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーションCD-ROM」をCD/DVDドライブにセットする

3 「Windows 再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ領域を使用して再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

4 「再セットアップ領域を確認しました。」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

5 再起動を促す画面が表示されたら、CD/DVDドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、【Enter】を押す

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」(P.42)へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」(P.44)へ進んでください。

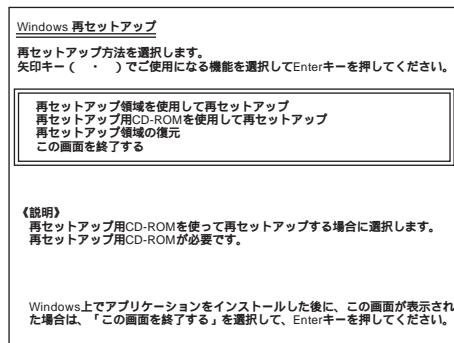
「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して、本機を再セットアップします。

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする

1 本機の電源を入れる

2 電源ランプがついたら、すぐに「アプリケーションCD-ROM」をCD/DVDドライブにセットする

3 次の画面が選択されたら、「再セットアップ用CD-ROMを使用して再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

次に標準再セットアップする場合は、「標準再セットアップする」（P.42）へ、カスタム再セットアップする場合は、「カスタム再セットアップする」（P.44）へ進んでください。

標準再セットアップする

標準再セットアップする

チェック!!

再セットアップ中にCD-ROMの入れ替えを要求された場合は、画面の指示に従いCD-ROMを入れ替えてください。

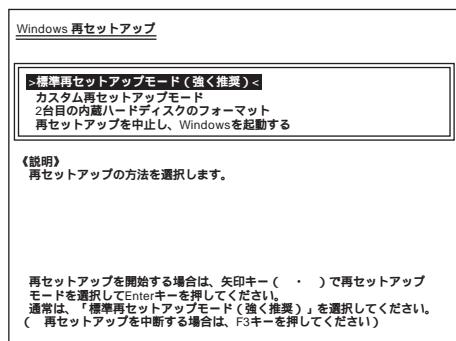
1 「Windowsの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 次の画面が表示されたら、「標準再セットアップモード（強く推奨）」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

>標準再セットアップモード（強く推奨）<
カスタム再セットアップモード
2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット
再セットアップを中止し、Windowsを起動する

《説明》
再セットアップの方法を選択します。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー（↑・↓）で再セットアップモードを選択してEnterキーを押してください。
通常は、「標準再セットアップモード（強く推奨）」を選択してください。
（●再セットアップを中断する場合は、F3キーを押してください）

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

次に「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んでください。

Windowsの設定をする

Windowsのセットアップを行います。

◎Windowsのセットアップ

『はじめにお読みください』「4 Windowsのセットアップ」をご覧になり、使用するWindowsのセットアップを行ってください。

チェック!!

Windowsのセットアップが終了したら、一度電源を切ったあと、『はじめにお読みください』「8 使用する環境の設定と上手な使い方」をご覧になり、必要に応じて各種の設定等を行ってください。

◎アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。
再セットアップの方法は『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「追加」をご覧ください。

◎購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなります。再度、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし直してください。

カスタム再セットアップする

カスタム再セットアップする

チェック!!

再セットアップ中にCD-ROMの入れ替えを要求された場合は、画面の指示に従いCD-ROMを入れ替えてください。

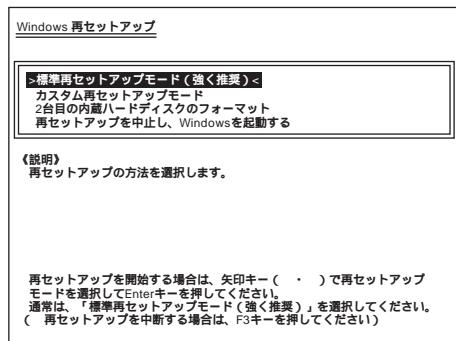
1 「Windowsの再セットアップを行います。」と表示されたら、注意事項をよく読んでから【Enter】を押す

2 次の画面が表示されたら、「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

>標準再セットアップモード（強く推奨）<
カスタム再セットアップモード
2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット
再セットアップを中止し、Windowsを起動する

《説明》
再セットアップの方法を選択します。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー（↑・↓）で再セットアップモードを選択してEnterキーを押してください。
通常は、「標準再セットアップモード（強く推奨）」を選択してください。
（●再セットアップを中断する場合は、F3キーを押してください）

これ以降の操作は、選択したOS、再セットアップ方法により異なりますので、それぞれのページへ進んでください。

〈Windows XPの場合〉

- 「Cドライブのみを NTFSで再セットアップする」(P.46)
- 「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(P.47)
- 「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(P.48)

〈Windows 2000の場合〉

- 「Cドライブのみを再セットアップする(FAT32・NTFS)」(P.49)
- 「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(P.50)
- 「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(P.51)

〈Windows Meの場合〉

- 「Cドライブのみを FAT32で再セットアップする」(P.53)
- 「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(P.54)
- 「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(P.55)

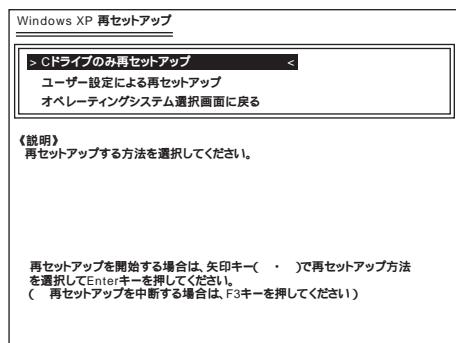
Windows XPをカスタム再セットアップする

Cドライブのみを NTFSで再セットアップする

Cドライブのみを NTFSで再セットアップしたい場合は、この方法で行います。

チェック!!

再セットアップを行うハードディスクにCドライブより大きい未割り当ての領域が存在する場合には、Cドライブのみの再セットアップができない場合があります。未割り当ての領域をパーティションとして確保してから、「Cドライブのみ再セットアップ」を行ってください。

1 次の画面が表示されたら、「Cドライブのみ再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする

CD　**全領域を1パーティション(NTFS)にしたい場合は、この方法で行います。**

「全領域を１パーティションにして再セットアップ」は「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ表示されます。また、この方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

1　次の画面が表示されたら、「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

※ 画面は「再セットアップ用CD-ROM」使用時のものです。

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

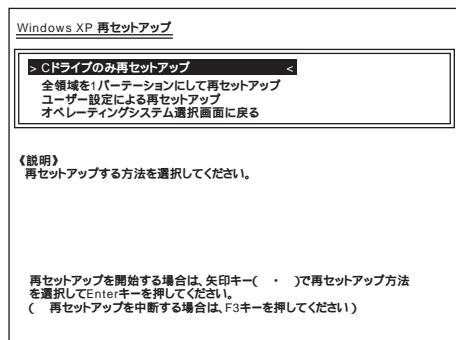
Cドライブの領域を変更したい場合は、この方法で行います。

チェック!!

「再セットアップ用CD-ROM」を使用してこの方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

1 次の画面が表示されたら、「ユーザー設定による再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

チェック!!

- 「再セットアップ領域」を使用して再セットアップしている場合、「再セットアップ領域」が存在するため、指定できるサイズの最大値はハードディスクの容量より、3GB小さい値です。
  例　40GBハードディスクをお使いの場合
  　　最大値:37GB
- ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。
  OSによっては、1M バイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

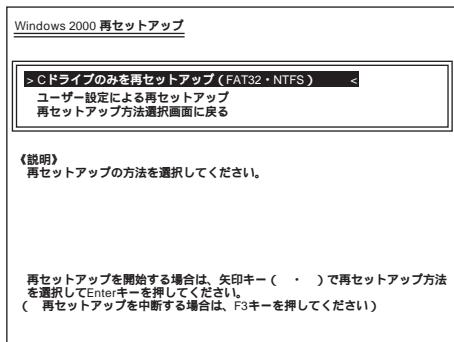
Windows　2000をカスタム再セットアップする

Cドライブのみを再セットアップする(FAT32・NTFS)

CドライブのみをFAT32、またはNTFSで再セットアップしたい場合は、この方法で行います。

チェック!!

再セットアップを行うハードディスクに、Cドライブより大きい未割り当ての領域が存在する場合には、Cドライブのみの再セットアップができない場合があります。未割り当ての領域をパーティションとして確保してから、「Cドライブのみを再セットアップ(FAT32・NTFS)」を行ってください。

1 次の画面が表示されたら、「Cドライブのみを再セットアップ(FAT32・NTFS)」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

「Windows 2000 セットアップウィザード」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

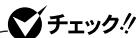
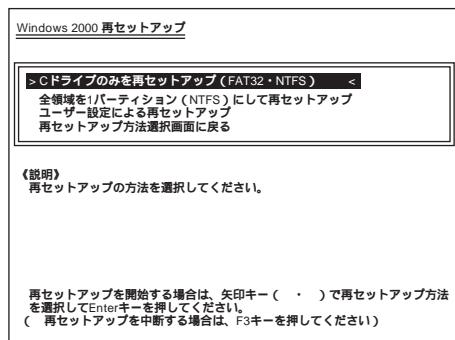
全領域を1パーティションにして再セットアップする

CD　**全領域を1パーティション(NTFS)にしたい場合は、この方法で行います。**

チェック!!

「全領域を１パーティションにして再セットアップ」は「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ表示されます。
また、この方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

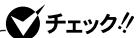
1 **次の画面が表示されたら、「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す**

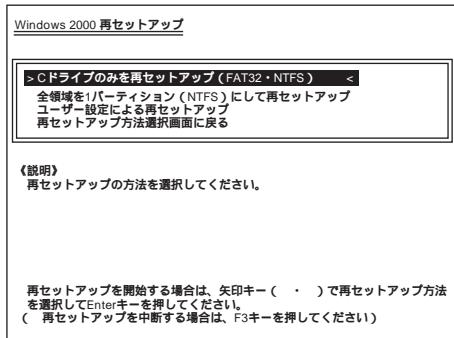
```
Windows 2000 再セットアップ

> Cドライブのみを再セットアップ（FAT32・NTFS）　　<
  全領域を1パーティション（NTFS）にして再セットアップ
  ユーザー設定による再セットアップ
  再セットアップ方法選択画面に戻る

《説明》
  再セットアップの方法を選択してください。

●再セットアップを開始する場合は、矢印キー（↑・↓）で再セットアップ方法
  を選択してEnterキーを押してください。
（●再セットアップを中断する場合は、F3キーを押してください）
```

※ 画面は「再セットアップ用CD-ROM」使用時のものです。

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Windows 2000セットアップウィザード」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

Cドライブの領域を変更したい場合は、この方法で行います。

「再セットアップ用CD-ROM」を使用してこの方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

1 次の画面が表示されたら、「ユーザー設定による再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

- 「再セットアップ領域」を使用して再セットアップしている場合、「再セットアップ領域」が存在するため、指定できるサイズの最大値はハードディスクの容量より、3GB小さい値です。
  例　40GBハードディスクをお使いの場合
  　　最大値:37GB
- ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。
  OSによっては、1M バイト＝1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト＝1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

「Windows 2000セットアップウィザード」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。
「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

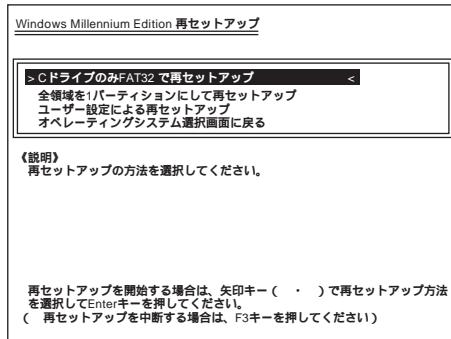
Windows Meをカスタム再セットアップする

Cドライブのみを FAT32で再セットアップする

Cドライブのみを FAT32で再セットアップしたい場合は、この方法で行います。

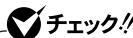
チェック!!

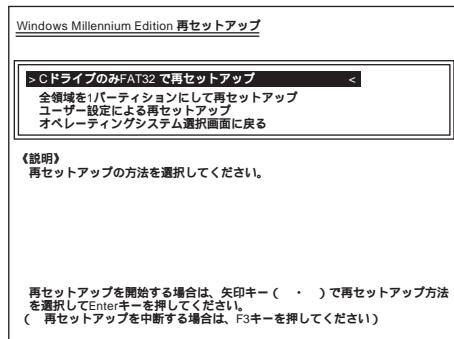
- Cドライブが FAT16の場合に「Cドライブのみ FAT32で再セットアップ」を選択すると、FAT32に変換して再セットアップします。
- Cドライブのみ FAT32で再セットアップする方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。
- Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再セットアップが必要な場合があります。アプリケーションが正常に動作しない場合は、再セットアップ後に、アプリケーションも再セットアップしてください。

1 次の画面が表示されたら、「Cドライブのみ FAT32で再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする

CD 全領域を1パーティション(FAT32)にしたい場合は、この方法で行います。

「全領域を１パーティションにして再セットアップ」は「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップする場合のみ表示されます。
また、この方法で再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

1 次の画面が表示されたら、「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

Cドライブのハードディスク領域を変更したい場合は、この方法で行います。

チェック!!

- ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。
- 本機の工場出荷時のCドライブの領域作成状態は、4GB(FAT32)で、領域作成しています。
- FAT16ファイルシステムでは、1つのドライブを2047MBを超えて領域作成することはできません。
- 2047MBを超えて領域作成する場合は、「FAT32ファイルシステムの利用」(P.75)をよくお読みください。

1 「ユーザー設定による再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す

2 パーティションの設定方式を選択して【Enter】を押す

次に「GB単位(FAT32)で設定」を選択した場合は、「GB単位で領域を確保する」へ、「fdisk/formatコマンドで自由に設定」を選択した場合は、「FDISKを使用して領域を確保する」(P.56)へ進んでください。

◎GB単位で領域を確保する

内蔵ハードディスクドライブを2GB以上、1GB単位で領域を確保して再セットアップします。
自動で領域の確保、フォーマットまでを行いますので、簡単にCドライブの容量を変更することができます。
内蔵ハードディスクドライブの内容はすべて消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

「再セットアップ用CD-ROM」を使用して再セットアップした場合、「再セットアップ領域」は削除されますので、ご注意ください。

1 「GB単位(FAT32)で設定」を選択し、【Enter】を押す

2 「Cドライブのサイズを GB単位(FAT32)で設定できます。」と表示されたら、確保したいCドライブの容量を入力する

チェック!!

- 「再セットアップ領域」が存在するため、指定できるサイズの最大値はハードディスクの容量より、3GB小さい値です。
  例　40GBハードディスクをお使いの場合
  　　最大値:37GB
- ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト=1,000,000バイト、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算したときのM、Gバイト値を示してあります。
  OSによっては、1M バイト=1,048,576バイトでMバイト値を、1Gバイト=1,073,741,824バイトでGバイト値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

CD

◎FDISKを使用して領域を確保する

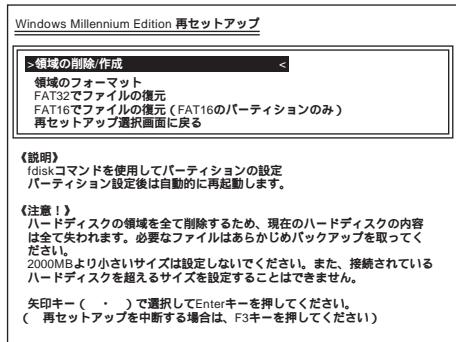
チェック!!

「fdisk/formatコマンドで自由に設定」は「再セットアップ領域」が存在しない場合のみ使用できます。

内蔵ハードディスクドライブをFDISKを使用して再セットアップします。
FDISKを使用しますので、領域を自由に確保することができます。またFAT16ファイルシステムを使用したい場合はこの方法で再セットアップしてください。

作成可能なパーティションの数は合計12個までです。それ以上作成した場合は、正常に再セットアップできなくなる場合があります。

1 「fdisk/formatコマンドで自由に設定」を選択し、【Enter】を押す

2 次の画面が表示されたら、「領域の削除/作成」を選択し、【Enter】を押す

3 「fdiskコマンドを使用して、パーティションを設定してください」と表示されたら、「はい」を選択して、【Enter】を押す

4 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか？(Y/N)」と表示されたら、FAT32を利用する場合は【Y】を、FAT16を利用するには【N】を押す

FDISKの画面が表示されます。

5 FDISKを使用して、領域の削除/作成を行う

メモ

FDISKの使用方法については後述の「FDISKについて」(P.59)をご覧ください。

6 再起動後、「領域のフォーマット」を選択して、【Enter】を押す

7 「formatコマンドを実行して、作成したパーティションをフォーマットしてください。」と表示されたら、「はい」を選択して、【Enter】を押す

MS-DOSプロンプトが表示されます。

8 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

FORMAT C:【Enter】
Cドライブのフォーマットが始まります。

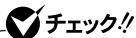
9 「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されたら、【Enter】を押す

作成したパーティションが複数ある場合は、手順8、9をくり返し、全てのパーティションをフォーマットしてください。

10 ハードディスクのFORMATが終了したら、MS-DOSプロンプトから次のように入力する

MENU【Enter】

11 「FAT32でファイルの復元」を選択して、【Enter】を押す

チェック!!

CドライブをFAT16にした場合は、必ず「FAT16でファイルの復元」を選択してください。誤って選択した場合は、正常に再セットアップできない場合があります。

これ以降の手順は画面の指示に従ってください。

「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。「標準再セットアップする」の「Windowsの設定をする」(P.43)へ進んで、その後の操作を行ってください。

FDISKについて

FDISKコマンドについて説明します。

基本MS-DOS領域 起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows をインストールします。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。

拡張MS-DOS領域 基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここから起動することはできません。1つのハードディスクに1つだけ作成できます。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。

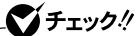
論理MS-DOSドライブ 拡張MS-DOS領域の中に作成します。複数のドライブを作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。

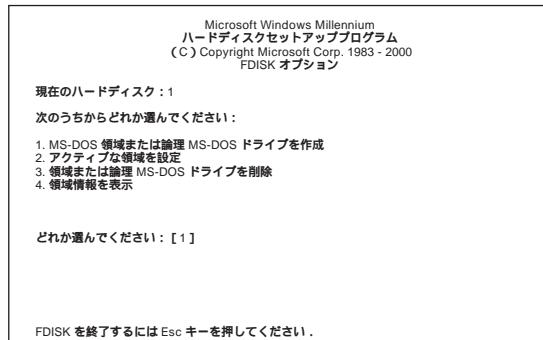
拡張MS-DOS領域を削除する場合は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域の順に削除してください。また、領域を作成する場合は、基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブの順で作成してください。

次にFDISKの使用例を説明します。
「1. 領域を削除する」(P.60)へ進んでください。

◎1. 領域を削除する

再セットアップするドライブの領域を削除する作業を行います。

チェック!!

領域を削除すると、データファイル等もすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合は、データのバックアップを行ってください。

```
Microsoft Windows Millennium
ハードディスクセットアッププログラム
(C) Copyright Microsoft Corp. 1983 - 2000
FDISK オプション

現在のハードディスク：1

次のうちからどれか選んでください：

1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
2. アクティブな領域を設定
3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 領域情報を表示

どれか選んでください： [1]

FDISK を終了するには Esc キーを押してください.
```

ハードディスクに基本MS-DOS領域しかない場合は、「1-3.基本MS-DOS領域を削除する」(P.62)へ進んでください。削除したい論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域がある場合は、「1-1.論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

◎1-1. 論理MS-DOSドライブを削除する

1. 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す

2. 「3. 拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す

3. ドライブ一覧とともに「どのドライブを削除しますか」と表示されるので、削除するドライブを選択し(Dドライブの場合は【D】を押す)、【Enter】を押す

4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されるので、ボリュームラベルが付けられている場合は入力し、【Enter】を押す
入力する必要がない場合（削除する領域にボリュームラベルが付けられていない場合）は、そのまま【Enter】を押す

5 「よろしいですか（Y/N）」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。

6 他に削除したいドライブがある場合、残りのドライブも同様に3〜5の手順ですべて削除する

7 すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されるので、【Esc】を押す

8 「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されるので、【Esc】を押す
FDISKオプションの画面が表示されます。

これで論理MS-DOSドライブが削除されました。
次に「1-2. 拡張MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

◎1-2.拡張MS-DOS領域を削除する

1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す

2 「2. 拡張MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す

3 「削除した拡張MS-DOS領域データはなくなります。続けますか（Y/N）」と表示されたら、【Y】を押し、【Enter】を押す

4 「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す

FDISKオプションの画面が表示されます。

これで拡張MS-DOS領域が削除されました。
次に「1-3. 基本MS-DOS領域を削除する」に進んでください。

◎1-3.基本MS-DOS領域を削除する

1 「3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す

2 「1. 基本MS-DOS領域を削除」を選択し、【Enter】を押す

3 現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本MS-DOS領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されるので、【1】を押して、【Enter】を押す

4 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されたら、「WINDOWSME」と入力し(別のボリュームラベルの場合はその名前を入力、何もボリュームラベルが付けられていない場合は何も入力せずそのままの状態で)、【Enter】を押す

5 「よろしいですか(Y/N)」と表示されたら、【Y】を押し、【Enter】を押す

6 「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【Esc】を押す

FDISKオプションの画面が表示されます。

これで基本MS-DOS領域が削除されました。
次に「2. 領域を作成する」(P.63)に進んでください。

◎2. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成します。本機では次のようにして領域を作成します。

ハードディスクを基本MS-DOS領域と拡張MS-DOS領域に分け、さらに拡張MS-DOS領域を論理MS-DOS領域に分けます。このうち基本MS-DOS領域がCドライブ(Windows を起動するドライブ)になり、論理MS-DOS領域がDドライブ以降になります。

領域の分け方(1)
基本MS-DOS領域(FAT32)を最大サイズ作成

基本MS-DOS 領域（FAT32）

Cドライブ

領域の分け方(2)
基本MS-DOS領域(FAT16)を最大サイズ(2,047MB)作成
拡張MS-DOS領域を最大サイズ作成した後、論理MS-DOS領域も最大サイズ作成

領域の分け方(3)
基本MS-DOS領域を作成
拡張MS-DOS領域を最大サイズ作成した後、論理MS-DOS領域を複数作成

領域の削除は、論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域→基本MS-DOS領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOS領域の順で作成してください。

◎2-1.基本MS-DOS領域を作成する

- **必要なハードディスク容量について**
  本機では基本MS-DOS領域にWindows やアプリケーションをインストールします。領域のサイズを指定して作成する場合、2,000MB以上の領域を作成してください。

- **基本MS-DOS領域の作成**
  基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。
  - 最大に割り当てる場合
    →■ 基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合
  - 最大に割り当てないでサイズを指定する
    →■ 基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合

■基本MS-DOS領域を最大に割り当てる場合

1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す

2 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す

3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか（同時にその領域をアクティブにします）（Y/N）」と表示されるので、【Y】を押し、【Enter】を押す

4 「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されたら、【Esc】を押す

これで基本MS-DOS領域が作成されました。
以上でFDISKについての説明は終了です。

■基本MS-DOS領域をサイズを指定して割り当てる場合

1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す

2 「どれか選んでください」と表示されるので、「1. 基本MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す

3 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されるので、【N】を押し、【Enter】を押す

4 「領域サイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、数値を入力して【Enter】を押す

メモ

- すでに最大領域が入力された状態で表示されているので、そのまま【Enter】を押すと最大領域が作成されます。
- 割合は全体に対する割合なので、モデルによって同じ%を指定しても作成される容量は異なります。

例:ハードディスクの容量が40Gバイトの場合　20%　約8Gバイト

- 2,047MB以下の数値を入力した場合は、「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されるので、基本MS-DOS領域をFAT16にする場合は、【Y】を押し、【Enter】を押してください。また基本MS-DOS領域をFAT32にする場合は、「FAT32を使用する場合の注意」(P.75)の内容を確認しておいてください。

5 「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されたら、【Esc】を押す

FDISKオプションの画面が表示されます。

6 【2】(アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】を押す

7 「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されるので、【1】を押し、【Enter】を押す

8 「領域1がアクティブになりました」と表示されたら、【Esc】を押す

FDISKオプションの画面が表示されます。

これで基本MS-DOS領域が作成されました。
次に「2-2. 拡張MS-DOS領域を作成する」(P.66)に進んでください。

◎2-2.拡張MS-DOS領域を作成する

1 「1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選択し、【Enter】を押す

2 「2. 拡張MS-DOS領域を作成」を選択し、【Enter】を押す

3 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されるので、最大サイズが表示されていることを確認し、【Enter】を押す

4 「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されるので、【Esc】を押す

これで拡張MS-DOS領域が作成されました。
次に「2-3. 論理MS-DOSドライブを割り当てる」に進んでください。

◎2-3.論理MS-DOSドライブを割り当てる

1 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。最大サイズを割り当てない場合は、数字を入力して【Enter】を押す
そのままの状態で【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

メモ

2,047MB以下の数値を入力した場合は、「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されるので、論理MS-DOS領域をFAT16にする場合は、【Y】を押し、【Enter】を押してください。

作成されると、「論理MS-DOSドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。

2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っている場合は、拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで手順1を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる
すべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

3　【Esc】を押して、もう一度【Esc】を押し、FDISKオプションの画面を終了する

メモ

FDISKオプションの画面の「4. 領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

4　「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示された場合は、【Esc】を押す

5　「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示された場合は、【Enter】を押す

これで論理MS-DOSドライブが割り当てられました。
以上でFDISKについての説明は終了です。

PART

2

付　録

この章の読み方

「再セットアップ領域」の削除/復元について、またはFAT32ファイルシステムを利用する場合にお読みください。

この章の内容

「再セットアップ領域」を削除する

「再セットアップ領域」は以下の手順で削除することができます。

チェック!!

「再セットアップ領域」を削除すると「再セットアップ領域」を使用した再セットアップができなくなります。「再セットアップ領域」を復元させるためには「再セットアップ用CD-ROM」を使用して標準再セットアップを行う必要がありますので、「再セットアップ領域」を削除する場合は注意してください。

参照

- 「再セットアップ用CD-ROM」の作成→「PART1 再セットアップする」「再セットアップの準備」の「「再セットアップ用CD-ROM」の作成」(P.35)
- 「再セットアップ用CD-ROM」の購入方法→「PART1 再セットアップする」「再セットアップについて」の「「再セットアップ用CD-ROM」について」(P.25)

■Windows XP、Windows 2000の場合

この操作は管理者、またはAdministrator権限を持つユーザで行ってください。

1 〈Windows XPの場合〉
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップツール」をクリック

〈Windows 2000の場合〉
「スタート」ボタン→「プログラム」→「ツール」→「再セットアップツール」をクリック

2 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「再セットアップ領域を表示する」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

チェック!!

「再セットアップ領域を表示する」がない場合は「キャンセル」ボタンをクリックし、手順5に進んでください。

3 「再セットアップ領域を表示します。実行にはしばらく時間がかかります。開始してよろしいですか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

4 「再セットアップ領域はWindows上から認識できる形式に変更されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

5 〈Windows XPの場合〉
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック

〈Windows 2000の場合〉
「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

6 〈Windows XPの場合〉
「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックし、「管理ツール」をクリック
〈Windows 2000の場合〉
「管理ツール」をダブルクリック

7 「コンピュータの管理」をダブルクリック

8 「コンピュータの管理」の画面が表示されたら、「ディスクの管理」をクリック

9 「ディスク0」の最後尾に割り当てられているドライブ番号(C:等)を確認する
2台目の内蔵ハードディスクから起動している場合は、「ディスク1」のドライブ番号(F:等)を確認してください。

チェック!!

このドライブに、お客様ご自身で作成したフォルダまたは、ファイルが存在しないことを確認してください。通常は次のフォルダが存在します。

〈Windows XPの場合〉
DOS　SYSINST　IMAGE　UPDATE

〈Windows 2000 の場合〉
DOS　SYSINST　IMAGE
ENDUSER　UPDATE

これらのフォルダが存在しない、または、異なったフォルダが存在する場合は、以前に「再セットアップ領域」を削除した可能性があります。
システム管理者にご確認ください。

10 このドライブを削除しても問題がないことが確認できたら、「操作」メニュー→「すべてのタスク」の「パーティションの削除」をクリック

11 「プライマリパーティションの削除」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

12 〈Windows XPの場合〉
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ツール」→「再セットアップ領域用ツールの削除」をクリック

〈Windows 2000の場合〉
「スタート」ボタン→「プログラム」→「ツール」→「再セットアップ領域用ツールの削除」をクリック

13 「再セットアップ領域用ツールの削除」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

14 「再セットアップ領域用ツールの削除が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

以上で「再セットアップ領域」の削除は終了です。

■Windows Meの場合

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「MS-DOSプロンプト」をクリック

2 次のように入力する
FDISK【Enter】

3 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されたら、【Y】を押して、【Enter】を押す

4 「3.領域または論理MS-DOSドライブを削除」を選択し、【Enter】を押す

5 「4.非MS-DOS 領域を削除」を選択し、【Enter】を押す

6 「どの非MS-DOS領域を削除しますか」と表示されたら、「種類：Non-DOS」、「Mバイト：2048」の領域が表示されている数字を入力し、【Enter】を押す

メモ

工場出荷時の状態では、【3】を入力してください。

7 「続けますか」と表示されたら、【Y】を押して、【Enter】を押す

8 「非MS-DOS領域を削除しました」と表示されたら、【ESC】を押し、もう一度【ESC】を押してFDISKオプションの画面を終了する

9 「設定を変更するにはコンピュータを再起動してください」と表示されたら、【ESC】を押す

10 Windowsを再起動する

11 「スタート」ボタン→「プログラム」→「ツール」→「再セットアップ領域用ツールの削除」をクリック

12 「再セットアップ領域用ツールの削除」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

13 「再セットアップ領域用ツールの削除が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

以上で「再セットアップ領域」の削除は終了です。

「再セットアップ領域」を復元させる

「再セットアップ領域」を復元させるためには、「再セットアップ用CD-ROM」を使用して標準再セットアップを行ってください。
また標準再セットアップを行った場合、1台目の内蔵ハードディスクドライブは工場出荷時の状態に戻りますので、必ず必要なデータのバックアップを行ったあと、標準再セットアップを行ってください。

FAT32ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindowsでは、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

FAT32ファイルシステムについて

FAT(File Allocation Table)ファイルシステム(以降、FAT16)は、MS-DOSや従来のWindowsで使用されている基本的なファイルシステムです。
FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFAT16を拡張したファイルシステムで、次のような特徴があります。

- FAT16では、2GBの容量を超える領域を扱えませんでしたが、FAT32では理論上2TB(2,047GB)の容量まで扱えます。

FAT32を使用する場合の注意

本機の工場出荷時のハードディスクの基本MS-DOS領域はFAT32です。
FAT32は、「Windows」フォルダのgeneral.txtと次の注意事項を確認してご使用ください。

- ハードディスクにインストールされた他のFAT32をサポートしていないOS(Windows NT 4.0など)からは、アクセスできません。
- ご使用になっている別売のソフトウェアによっては正しく動作しない場合があります。
- スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「システムツール」グループにあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮できません。
- FAT16に戻すためには、再セットアップする必要があります。

FAT32の設定方法

FAT32を利用するには、「FDISKコマンド」を使用して領域を作成します。「FDISKコマンド」は、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。

チェック!!

領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合には、必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

◎「FDISKコマンド」での設定

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「MS-DOSプロンプト」をクリック

2 MS-DOSプロンプトから次のように入力する

FDISK【Enter】

ハードディスクの容量が512MB以上の場合は、大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認する、次のようなメッセージが表示されます。

```
512MB以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディス
クのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2GB以上
のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブ
を作成した場合、ほかのオペレーティングシステムを使ってこの新しいドライブに
アクセスすることはできません（Windows95とWindows NTの特定のバージョン、
以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む）。また、FAT32ファイルシステム
用に設計されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。
このディスクで他のオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティ
にアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートはしないでください。

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか（Y/N）...............? [Y]
```

3 【Enter】を押す

メモ

領域(ただし、512MB以上の領域)を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。

4 **Windowsを再起動する**

ドライブをフォーマットすると、領域が利用できるようになります。

活用ガイド
再セットアップ編

PC98-NX シリーズ
VersaPro
VersaPro R

初版　２００３年6月
NEC
P
853-810602-067-A